

2019年7月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2019年7月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<http://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。6月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は、幾分悪化した（D.I.：前回+6→足もと+4）。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱めの動きとなっている。設備投資は、製造業を中心に増加している。個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。雇用情勢は、引き続き改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。	緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。	
需要項目	公共投資	弱含んでいる。	堅調に推移している。
	輸出	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	設備投資	製造業を中心に増加している。	製造業を中心に増加している。
	個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。	足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。
生産	一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。	一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。	
雇用	引き続き改善している。	引き続き改善している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

5月の公共工事請負金額をみると、独立行政法人等の発注分が増加したことから、前年比プラスとなった。

輸出は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、製造業を中心に増加している。

6月短観における19年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高は、化粧品が引き続き堅調なほか、夏物商材にも動意がみられている。

乗用車販売は、堅調に推移している。

住宅投資は、足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。
5月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年比マイナスとなった。

3. 生産

生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	海外向けの一部が弱含んでいるものの、生産は高水準で推移している。
	電炉	建設向けを中心に、生産は高水準で推移している。
化学		アジア向けを中心に、生産は増加基調にある。
セメント		生産は堅調に推移している。
住設機器		リフォーム向けを中心に、生産は高水準で推移している。
電気機械		半導体向けを中心に、生産水準は切り下がっている。
電子部品		半導体向けを中心に、生産水準は切り下がっている。
自動車		海外向けを中心に、生産は弱めの動きとなっている。

4. 雇用

雇用情勢は、引き続き改善している。

5月の有効求人倍率は、1.27倍（前年比▲0.07ポイント）と、前年を下回った。

5. 物価

5月の消費者物価指数（北九州市の生鮮食品を除く総合ベース）は、前年比プラス（+0.8%）となった。

6. 企業倒産

5月の企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、件数は9件（前年同月9件）、負債総額は754百万円（同1,562百万円）となった。

7. 金融情勢

5月末の実質預金は、前年比2.0%増となった（前月同2.7%増）。貸出は、前年比2.6%増となった（前月同2.8%増）。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、1.139%となった（前月1.150%）。

以 上